

第2次村上市環境基本計画
令和3年度 進捗状況報告書

令和5年2月
新潟県村上市

1. 第2次村上市環境基本計画の目指すもの

平成23年3月に策定した「第1次村上市環境基本計画」では、「山・川・海 豊かな自然に恵まれた歴史と伝統を継承するまち」を望ましい環境像として掲げ、環境の保全及び創造に関する施策に取り組んでまいりました。

新しく令和3年3月に策定した「第2次村上市環境基本計画」では、市の豊かな環境を将来世代へと継承していくことを念頭に、近年の気候変動や地球温暖化、脱炭素社会に向けた取組など環境問題に関する社会情勢の変化に対応するとともに、本市における環境問題の解決や将来に向けた環境施策の更なる推進を図ることで、環境像「豊かな自然と調和しながら発展して共生する循環共生型社会のまち」の実現を目指します。

2. 計画の期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から12年度（2030年度）までの10年間です。

また、経済社会情勢の変化や新たな環境問題の解決に対しても柔軟に対応するため、期間の中間年度において見直しを行い、必要に応じて計画を修正します。

3. 環境基本計画の具体的な展開

本計画では、目指す環境像の実現に向け、「自然環境」「循環共生」「地球温暖化」「文化景観」「社会協働」という5つの基本目標を掲げ、各環境施策がSDGs 17の目標達成に貢献できるよう、施策の方向性を定めています。

そして、本計画の実効性を高めるため、毎年度、計画の進行管理を行い、環境指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

4. 令和3年度進捗状況報告

(1) 環境指標の進捗状況

環境指標の進捗状況については、関係各課から実績値を求め、計画策定時の現況値や計画目標値と比較し、別紙の表にまとめました。

(2) 環境施策

令和3年度の環境施策の達成状況について、各課に点検・評価を求めました。

評価方法は、第1次村上市環境基本計画で実施した方法と同様に「A」から「E」までの5段階評価で行い、基本目標別に環境施策の評価を集計しました。

※ 新型コロナ感染拡大防止等のため、やむを得ない事情で事業が実施できなかった施策については「E」評価としています。

基本目標	令和3年度 評価集計					
	A	B	C	D	E	合計
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	7	11	8	8	5	39
2 持続可能な循環共生型の社会	19	15	14	2	21	71
3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	1	7	9	8	18	43
4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	1	8	2	5	1	17
5 市民や産業とともに発展する環境づくり	4	1	5	7	8	25
合計	32	42	38	30	53	195
	16.4%	21.5%	19.5%	15.4%	27.2%	100.0%
	AB計 37.9%		CD計 31.9%			

評価基準

A：達成（十分な成果が得られた）

B：順調である（前年度に比べ、事業の実施成果が向上した）

C：概ね順調である（前年度に比べ、事業実施の充実が認められる）

D：前年度と同水準が維持されている（前年度に比べ、事業の実施水準が維持されている）

E：順調でない（事業が実施されなかった。前年度に比べ、実施成果または実施内容が後退した）